

發刊の辭

我同志社大學經濟學部は、昭和二十三年四月、新制大學の一學部として設立せられた。日尙ほ淺く、學部の充實強化のため、解決せらるべき案件はもとより極めて多い。併し新しい學部とは云へ、從來法學部又は法經濟學部の經濟學科として築かれた傳統は、柄として今日に及んでゐる。吾々は、幾多の先輩に依て培はれたこの特色を正しく把握し、學部將來の發展の上に繼承せしめなければならぬ。吾々の抱負と經倫とは、輝かしい傳統と新しい自覺との上に着々として實現せられるであらう。茲に同志社大學經濟學會を結成し、その機關誌として「經濟學論叢」を發刊する所以のものは、仍ち吾々の意圖するところを世に問はんとする第一歩に外ならない。

大學の生命は、いふまでもなく、學の自由に存する。由來我同志社大學が、自由の學府として、京洛の地に七十餘年の歴史を築いて來たことは、既に世の知るところである。吾々はこれを深く誇ると共に、本邦經濟學界の正に世界學的な展開を遂げんとするに際し、吾々も亦筆硯を新にしてこの機運に對處することに、寧ろ深い責任を感じるものである。經濟諸科學に關する數多い専門雜誌の伴に伍して、本誌の占め得る地位は、本誌自らの努力に依つて築かるべきであらう。吾々の謙虛な精進に對して、學界の忌憚なき批判を得ば、我等の深く悦びとするところである。

昭和廿四年四月一日

同志社大學經濟學會